岩手医科大学　病理診断学講座では、京都府立医科大学　人体病理学教室と共同で下記の研究を実施しておりますのでお知らせします。

研究課題名：
超微小胃癌における臨床病理学的および免疫組織化学的検討

1）研究対象：
　2000 年 1 月 1 日から 2019 年 10 月 31 日にかけて、岩手医科大学附属病院および京都府立医科大学附属病院で内視鏡的切除が施行された患者さんのパラフィン包埋切片および臨床病理学的情報

2）研究の概要：
　1mm 以下の超微小胃癌の特徴を臨床病理学的因子（年齢、性別、発生部位など）および免疫組織化学（特定のタンパク質を染色する手法）の検討を行い、その特徴を明らかにする研究を行っています。

3）研究の意義：
　今後、同様の非常に小さな胃癌の患者さんにおいて、癌の発生や病変の発見・診断に役立つ有用な情報を得ることができ、国民の健康増進・福祉向上に役立つと考えられます。

4）本研究の目的：
　本研究で非常に小さな胃癌の発生しやすい年齢や発生しやすい場所、癌組織や背景の胃粘膜の特徴、癌細胞の発現するタンパク質などの特徴を明らかにすることを目的とします。

5）本研究に用いる試料・情報の種類
　本研究では、患者さんの情報として、年齢、性別等の個人を特定できないものを研究に用います。また、治療のために内視鏡で切除された腫瘍を含む検体を試料として用います。採取された検体の情報として、採取部位、背景粘膜の状態、腫瘍の大きさ、深さ、血管やリンパ管への腫瘍侵襲の有無、リンパ節転移の有無などを用います。また、病理診断が終了したあとの検体を免疫組織化学（特定のタンパク質を切片で染める方法）の解析に試料として用います。
　本研究のために新たな検体を採取したり、新しい情報を収集したりすることはなく、患者さんに新たな負担や不利益が及ぶことはありません。

6）個人情報保護に関する配慮：
　本研究では個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は、個

人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、プライバシー保護に努めます。

情報に関しては、個人が特定されないよう匿名化を行い、岩手医科大学医学部 病理診断学講座にてインターネットを介しないパーソナルコンピュータを用いて行う．データ（対応表と解析データを含む）はデバイスに暗証番号を用い鍵のついた保管庫に保管します。研究期間終了後も、匿名化したデータ、試料は研究期間中と同様の方法で厳重に保管します。

患者さん等からの御希望があれば、その方の解析情報は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記の連絡先まで申し出てください。

6）照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：菅井　有（すがい　たもつ）
岩手医科大学医学部　病理診断学講座
〒028-3695　紫波郡矢巾町医大通二丁目１番１号
TEL：019-613-7111（内線 2393）
E-mail：tsugai(at)iwate-med.ac.jp
[(at)を@に変更してご利用ください]

研究事務局：藤田　泰子（ふじた　やすこ）
岩手医科大学医学部　病理診断学講座
〒028-3695　紫波郡矢巾町医大通二丁目１番１号
TEL：019-613-7111（内線 2393）
E-mail：fujitaya(at)iwate-med.ac.jp
[(at)を@に変更してご利用ください]